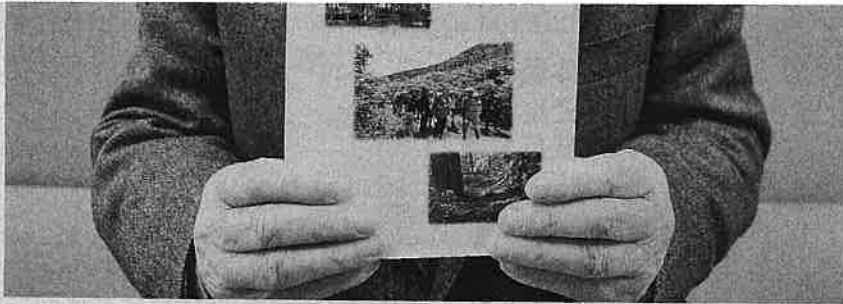


ようと、収集した旧和賀町時代の郷土史資料や聞き取り調査を基に、約2年かけて完成させた。

今月中に地区内の公民館や小中学校に無料で配布するほか、同センターにも閲覧用に設置する。

菊池さんは「多くの人が和賀地区に関心を持つことで、魅力の深掘りや景観整備の機運醸成につながる。地区の交流にも役立ててほしい」と期待する。

問い合わせは同センター(0197・72・2215)へ。(斉藤元)



「わがまちの景観さんぼ」を制作した菊池篤さん。和賀地区の歴史や風土の魅力を発信する

### ミズキ団子に無病息災願う

老人クラブ連合会

遠野市の松崎町老人クラブ

ブ連合会(藤田一男会長)は8日、同町の市総合福祉センターで小正月の伝統行事を行い、五穀豊穡と無病息災の一年を願ってミズキ団子を作った。会員ら約40人が参加。米粉で作った赤、白、黄、緑の団子を高さ5層のミズキの枝に一つ一つ丁寧に取付けた。色鮮やかな飾りが完成すると、笑顔の輪が広がった。例年は地域の園児や児童



ヒイラギの葉の金めっき加工を楽しむ児童

### 北上

北上川流域ものづくりネットワーク

ク(谷村久興代表、会員222企業・団体)は7日、北上市北工業団地の薄衣電解工業北上工場(西谷重天工場長)で、小学生らを対象としたものづくり体験教室を開いた。

北上、花巻両市の小学生と保護者約50人が参加し、同社が手掛けるめっき加工の流れを説明。児童は無電解ニッケル液などで前処理したヒイラギの葉

### めっき加工 不思議だな

#### 小学生がものづくり体験

を、電気が流れる金めっき液に浸し、黄金色に生まれ変わっていく葉の美しさに感嘆の声を上げた。花巻市の矢沢小5年の柴田碧良君は「色が変わっていくのがとても不思議だ」と目を凝らして見つめた。西谷工場長(71)は「子どもたちが体験を通してものづくりへの関心を高め、地元に着目する契機になればうれしい」と期待した。

小田島順造校長(右)に箱根駅伝出場を報告する松川雅虎選手

### 花巻

第97回東京箱根間往復大学駅伝(箱根駅伝)に関東学生連合チームの一員として

出場し、復路の10区を力走した芝浦工大2年の松川雅虎選手(20)=花巻市出身=は7日、母校である同市松園町の花巻東高を訪れ、小田島順造校長に出場を報告した。

松川選手は西南中出身。箱根駅伝は中学3年生からの夢で「レース前にこれまで自分に関わってくれた人を思い浮かべた。緊張はしなかった」と初出場を振り返った。

1時間10分50秒は参考記録

### 母校・花巻東高 訪れ力走を報告

ながら、区間6位相当だった。「区間1位記録は自分にも出せるタイムで本気で狙っていたが、5キロぐらいで背中に痛みが出た」と悔しさをにじませつつ「大学時代に1万は28分台、5000は13分台を狙っていきたい」と意気込んだ。

同校によると、前身の花巻商高の卒業生に箱根ランナーはいたが、花巻東高になった1982年以降は初めてとい

箱根駅伝出場の松川雅虎選手(芝浦工大)

県南

泣き相撲大会 2年連続の中止

コ

江刺甚句まつり 秋に